

(2) 東北



東北地域では、景気は一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。

- ・ 鉱工業生産は持ち直しの動きに足踏みがみられる。
- ・ 個人消費は持ち直している。
- ・ 雇用情勢は持ち直している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す(は上方に変更、 は下方に変更)。

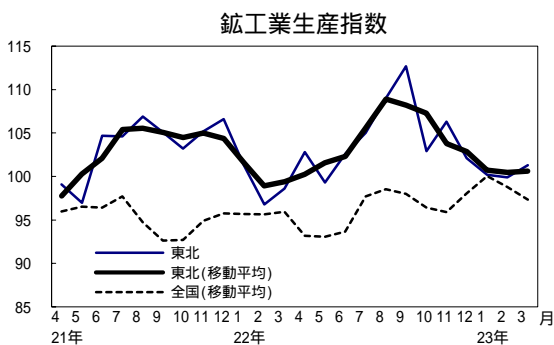
前回からの主要変更点

	前回(令和5年3月)	今回(令和5年5月)	
鉱工業生産	一部に弱さがみられるものの、持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きに足踏みがみられる	
個人消費	緩やかに持ち直している	持ち直している	

1. 鉱工業生産の動向

鉱工業生産は持ち直しの動きに足踏みがみられる。

1 - 3月期の鉱工業生産は、前期比3.2%減となった。月別にみると、1月は生産用機械が減少したこと等により前月比1.9%減、2月は電子部品・デバイスが減少したこと等により同0.3%減、3月は生産用機械が増加したこと等により同1.4%増となった。



域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比) (%)

	付加価値 ウェイト	生産				
		10 - 12 月期	1 - 3 月期	1月	2月	3月
電子部品・デバイス	15.3	0.7	0.8	4.3	14.1	0.6
食料品	11.0	7.0	16.1	4.6	2.2	0.8
化学・石油製品	9.1	10.6	8.5	7.7	1.7	1.8
輸送機械	7.9	12.5	6.5	13.6	7.1	2.2
生産用機械	6.7	25.8	12.8	30.9	31.2	15.5
鉱工業	100.0	4.7	3.2	1.9	0.3	1.4

(備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い5業種。

2. 1 - 3月期、3月は速報値。

(備考) 1. 2015年=100、季節調整値。東北の最新月は速報値。

2. 全国及び東北の太線は中心3か月移動平均。

直近月は2か月平均。

2. 個人消費の動向

個人消費は持ち直している。

(1) 地域別消費総合指数 (RDEI (消費))

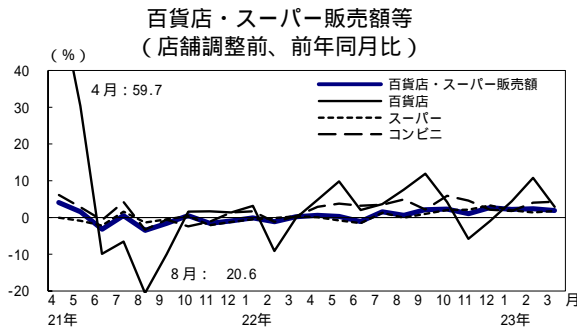
1 - 3月期は前期比 1.2%増となった。月別にみると、1月は前月比 0.8%増、2月は同 1.0%増、3月は同 1.4%減となった。

(2) 百貨店・スーパー販売額

百貨店・スーパーは、1 - 3月期は前年同期比 2.2%増となった。月別にみると、1月は前年同月比 2.2%増、2月は同 2.4%増、3月は同 1.9%増となった。

百貨店は、1 - 3月期は前年同期比 5.6%増となった。

スーパーは、1 - 3月期は同 1.7%増となった。

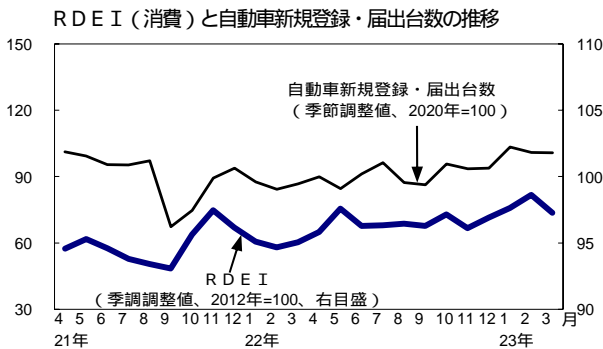


	2023年1-3月	2023年1月	2月	3月
RDEI (消費*1)	1.2	0.8	1.0	1.4
百貨店・スーパー(*2)	2.2	2.2	2.4	1.9
百貨店(*2)	5.6	4.4	10.8	2.9
スーパー(*2)	1.7	1.9	1.4	1.8
コンビニ(*2)	3.4	1.8	4.0	4.3
乗用車(*3)	17.9	19.5	19.5	16.0
(季節調整値)(*3)	7.8	10.2	2.3	0.2

(備考) 1. 季節調整済前期(月)比 (%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比 (%)

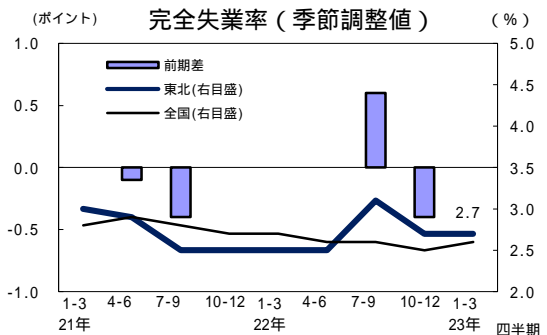
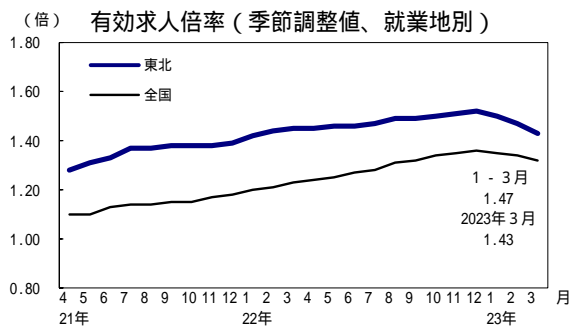
3. 乗用車は、新規登録・届出台数(上段は前年同期(月)比(%))



3. 雇用情勢

雇用情勢は持ち直している。

有効求人倍率は低下している。完全失業率は前期と同水準となっている。



(13) 景気ウォッチャー調査（令和5年4月調査）景気判断理由の概要

2. 東北

(◎良、○やや良、□不変、▲やや悪、×悪)

分野		判断	判断の理由	
現状	家計 動向 関連	□	・新型コロナウイルス感染症に対する規制の緩和に伴って、外出機会やトラベル需要が増加しており、ファッションやコスメ関連商品は売上が伸びている。一方で各種値上げによる生活防衛感の高まりもあり、新型コロナウイルス感染症発生前までは回復していない（百貨店）。	
		○	・住宅設備機器は給湯器、コンロ、エアコンの交換工事が増えている。リフォームは増改築や屋根外壁塗装と補助金対象の設備交換工事が増えている（その他住宅〔リフォーム〕）。	
		▲	・物価高騰の影響が少なからず出ている。家計の負担が増しているため、車両の支払額を抑えたいということで商談の保留や買い渋りが増えている（乗用車販売店）。	
	企業 動向 関連	○	・大型公共施設の受注機会に恵まれた（建設業）。	
		□	・受注単価の引上げに難色を示している取引先があり、引上げ金額次第では発注自体を取り消す動きも見られる（出版・印刷・同関連産業）。	
		▲	・メモリ系を中心に半導体関連顧客からの受注量が減少している（電気機械器具製造業）。	
	雇用 関連	○	・価格高騰に対応できた企業での中途採用が増えている。サービス業や小売業、専門商社や飲食店等で中途採用の求人数が伸びている（人材派遣会社）。	
		▲	・あらゆる分野で原材料価格の高騰が続いていることや、今後電気料金が値上げされることが市民生活に影響を及ぼしている。県内においては春闘の賃上げも都市部のように目立った動きがない（新聞社〔求人広告〕）。	
	その他の特徴 コメント		○	○：全国旅行支援の割引が終了したエリアは多いが、宿泊販売は大きく落ち込んでいない。ゴールデンウィークの商戦はほぼ終了となるが、夏商戦が新型コロナウイルス感染症発生前よりも早いタイミングで動き始めている（旅行代理店）。
			▲	▲：4月はほとんどの商品が値上がりし、売上は前年を割っている。桜の開花が例年より早く、花見が早く終わったため、人の流れも止まっている（一般小売店〔医薬品〕）。
先行き	家計 動向 関連	□	・行動制限のないゴールデンウィークのため帰省客が増加し、一時的な売上の増加も見込まれるが、その後は逆に財布のひもが固くなるとみている（スーパー）。	
		○	・商品の値上げラッシュは一段落し、客も物価高に慣れたようで、休日夜間の来客数が増加している。5月から新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類に移行するため、より一層人の流れが良くなるとみている（コンビニ）。	
	企業 動向 関連	□	・見積件数は増えつつあるが、新しい製品の案件が非常に少ないため、2～3か月後も変わらないとみている（一般機械器具製造業）。	
		○	・当社もこの4月に徐々にベースアップをしており、社員の士気も向上している。また、様々な行事が通常開催することなど明るい話題が増えており、営業活動にもプラスの影響が現れている（コピーサービス業）。	
	雇用 関連	□	・求人数が多い状況は続くともみている。ただし、労働力人口の減少による人手不足によるものであり、特に企業が好況という状態ではない（職業安定所）。	
	その他の特徴 コメント		○	○：今年は温暖化により周辺の観光地で例年より早く花が咲き、ゴールデンウィークを前に花見が終わってしまったことは当社にとってはチャンスとみている。また、冬休み、春休みに新規客が多かったため、今後も期待できる（テーマパーク）。
		▲	▲：受注量は堅調だが、光熱費の更なる上昇が予想されるため、利益の確保に苦労するとみている（金属製品製造業）。	

(D I) 現状・先行き判断D I（東北）の推移（季節調整値）

